



木

々の葉の緑濃く、空の青さがまぶしい夏の公園。芝生の上を子どもたちが駆け回り、楽しそうに遊んでいます。その脇では、大人たちが木について学んだり、剪定（せんてい）の様子を見学したりしています。

木々の葉が色づき、赤や黄の色鮮やかな落ち葉が舞い散る秋の公園。訪れた人々がゆつくりと散策し、自然と触れ合っている様子が見られます。

南区では、子どもも大人も楽しく遊び、自然と触れ合い学ぶことができるように、平成十七年度から「公園まなびのヒント講座」が行われています。その一コマを中心に、公園をのぞいてみましょう。

公

園まなびのヒント講座は、市民団体「パンダフル」や「あそぶべえ」、「フォレストスターズ・クラブ」などの皆さんと協力し、南区土木センターが主催。公園でのさまざまな遊びの提案、公園での学びについてたくさんを試みを行っています。

今年のヒント講座では、樹木の先生や、野鳥の先生と一緒に園内を散策し、見て触れて木々や野鳥を観察したり、落ち葉の堆肥（たいひ）化について学んだりしました。

樹

木医の吉田憲一（よしたけいいち）さんは、北海道から沖繩まで、全国の森林を歩いて回った樹木の先生。参加者は、吉田さんと一緒にエドウィン・ダン記念公園を散策。園内の木の位置が書かれた図面を手に、木の幹や葉を見て名前